

虹の架け橋



錬共向 校
磨生上 訓

第16号
R7.1.23発行
文責 永田 功臣

新たな気持ちで！！

3学期が始まり、3週間目に入りました。3年生はいよいよ入試が始まり、緊張感が漂っています。1、2年生も新生徒会が実動に入り、リーダー研修等とおして、学校を自分たちで創っていこうという意識の高揚が見られます。この気持ちを忘れずに3学期を充実したものにしてほしいと思います。

先日の研修会の中で「自ら機会を創り出すことにより、自らを変える」という講師の方の言葉が印象に残りました。始業式の言葉でも以下のように、巳年にちなんで、自分の「殻」を破るという話をしています。入試や生徒会活動等を自分を変えるチャンスと捉えて粘り強く取り組んでほしいと思います。

今年は「巳年」です。へびは空腹に耐えることができ、脱皮して成長することから「粘り強さ」とか「新しく生まれ変わる」ことの象徴だと言われています。皆さんも、今年はこれまでの自分の「殻」を破って、ぜひ新しいことに粘り強くチャレンジして、今までと違う自分を発見してほしいと思います。

皆さんや新生徒会に対して一つ提案があります。それは「あいさつの質を上げる」ということです。例えば、立ち止まってあいさつするとか、笑顔で、もっと大きな声で、一言付け加えるなどいろいろあるかと思います。特に、朝からのあいさつは一日のスタートを左右する大切なあいさつです。先生方や仲間気持ちに伝わるようなあいさつを目指し、活気あふれる学校にしていきたいです。

また、新生徒会には「ボランティアリーダー」という新たな役割が位置づけられました。この「ボランティア」には「自ら進んで行動する」「自発的な社会貢献」という意味があり、学校の教育目標とも重なります。ぜひ、あいさつとともにボランティア精神を矢部中生としての誇り「矢部中プライド」の一つにしてください。

(3学期始業式の言葉より抜粋)

矢部中生の活躍 ★★★★★

1/18 熊本県中学新チーム卓球大会 女子団体 第3位



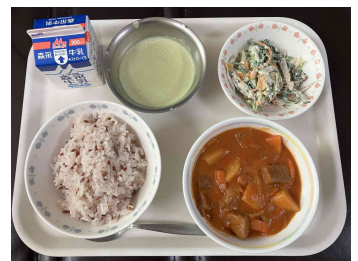
※ 卓球部は、クラブチームの大会でも準優勝をしていて、九州大会に出場予定です。

今後の活躍が期待されます。ガンバレ！！

全国学校給食週間 1/24～1/30

明治22年から始まった学校給食ですが、戦争により一時中断し、昭和21年に給食が再開されたことを記念して、昭和25年から学校給食週間が設定されています。日本の学校給食は、単なる食事の提供だけでなく、食事のマナーや栄養バランスを考える食育を兼ねた取組として海外からも注目されています。

本校でも、今週1週間をSDGs 給食週間として、矢部茶等の地域の特産物や猪肉、野菜等、地域の食材を使った給食が提供されています。「おしよせ」という矢部地区の郷土料理を矢部小学校以来、久しぶりに堪能しました。物価が高騰する中において、工夫を凝らして価格を抑えたり、楽しく食事ができるメニューを新しく考えたりと栄養教諭をはじめ調理員の方々には毎日素晴らしい給食を提供いただき、大変感謝しています。



22日(水)の献立
○赤米ごはん、牛乳、ピーフシチュー
小松菜とごぼうのサラダ
矢部茶のプランマンジェ風

22日(水)には、県体育保健課、町学校教育課、町農林振興課、肥後やまから視察があり、試食もしていただきました。今後も地域の食材の提供や給食費の補助等につながればと思っています。

生徒の皆さんには、毎日給食を食べられるのが当たり前ではなく、いろんな方々の協力や努力があって成り立っていることを、この機会にもう一度考えて、感謝しながら食べてほしいと思います。

今後の主な行事

※あくまで予定の
部分もあります

- 2月3日(月) 公立高校前期選抜入試
令和7年度新入生説明会
- 6日(木) 3年学年末テスト(～7日)
- 13日(木) 私立高校一般入試(～14日)
- 3月3日(月) 振替休業日(3月8日分)
- 4日(火) 公立高校後期選抜入試(～5日)
- 8日(土) 第20回卒業証書授与式
- 14日(金) 1・2年授業参観及びPTA合同委員会(午前)